

南アルプスコネスコパーク山梨県連絡協議会 主催



南アルプス学講座

第4回
荊崎会場

開場・受付 13:00 / 開始 13:30 / 定員 70名

1月19日(土) 荊崎市民交流センターニコリ

大地形成史から南アルプスの生物多様性を読み解く

日本列島形成史の理解が20世紀後半以降から顕著に進展し、この過程で南アルプスの大地形成史をはじめ、さらに動・植物のユニークな特徴も包括的にわかりました。この流れを紹介します。

講師：輿水 達司

北杜市出身、北海道大学理学部卒、山梨県環境科学研究所研究員を経て、山梨県立大学特任教授、専門は地質学。



これまでに発生した土砂災害とその特徴

富士川流域では過去から大きな土砂災害に見舞われてきましたが、これらの災害をふり返るとともに近年発生した土砂災害とその特徴を述べ、安全・安心の一助とします。

講師：萬徳 昌昭

国土交通省関東地方整備局富士川砂防事務所長。前職は国土技術政策総合研究所で深層崩壊対策研究官として勤務。



申し込み・問い合わせ 産業観光課 観光担当 内線(213・214)

としまの遺産めぐり 第30回

おもてなしの心を伝える

甲州最古の古刹永岳寺と不動堂



にらみん

日本のへそのある大草町には、鎌倉の建長寺を開山した大覚禪師によって、今から約750年前の文永7(1270)年に創建されたと伝えられている永岳寺があります。

永岳寺の境内の一角には甘利不動堂といわれたお堂が建っていました。今は基壇とその上に整然と並ぶ礎石が残っているのみです。永岳寺の由緒書には「天文之度武田信玄公建立之道場也」とあって、武田信玄が建立したと書かれています。

寺の記録には、不動堂の由緒についてこのように記されています。「江戸時代の明暦の頃に、信州の机村出身の年老いた女性が、幼い子と一緒に甘利にやって来て住むようになり、女性は亡くなる時に、秘蔵の不動明王像の絵を永岳寺に寄付しました。この絵は願いを叶えてくれることで有名になり、遠くからもそ



のご利益にあやかうと多くの人が訪れるようになりました。」

このような記録も手伝つて、「秘蔵の絵」にまつわる伝承が残っています。

昔、永岳寺の近くに真面目なお百姓夫婦が住んでいて、そこに旅の僧が訪れました。豪華ではありませんでしたが、心を込めて旅の僧におもてなしをしました。そのことに感謝して、僧は夫婦に不動明王の絵を描き、お礼をしました。その絵はとても霊力があって、夫婦の家を襲った泥棒を退治したり、病に倒れている近所の娘を治したりするほどでした。あまりにも靈

力が強いので永岳寺に納めようとしたが、絵から不動明王が飛び出し、夫婦と一緒になければだめだご立腹になりました。夫婦は未永く持ち伝えましたが、絵が古くなったので、京都で新しく不動さんの木像を彫刻して、絵はその像の腹中に納めました。」

永岳寺や不動堂の歴史を伝えるだけでなく、心を込めたおもてなしをすることが人の生き方として良いということを伝えていきます。

不動堂は礎石が残るのみですが、永岳寺の歴史を見てきた大カシヤ庫裡からは、甲州最古の禪刹の一つといわれる荘厳さを感じることができ、その荘厳さゆえに紹介した伝承を生み出すことにつながったでしょう。遺跡・伝承・天然記念物といった文化財が一体となつている雰囲気を楽しんでみてはいかがでしょうか。また、身近な歴史をひも解いてみると、永岳寺と建長寺のように、有名な観光名所とつながることがあります。今年出かける旅行先には、もしかしたら荊崎とのつながりが隠れているかもしれません。そんなことを少し気にかけながら旅する一年にしてみたいかがでしょうか。

(文化財担当 間間俊明)